令和４年度 事業報告

1　事業概要

法人経営においては、「ガバナンスの強化」、「透明性の確保」、「財務規律の強化」を基本として、第３次中期経営計画の２年目として事業を推進しました。

3 年目となった新型コロナウイルス感染症に対しては、厚生労働省のガイドライン等に基づく感染防止対策を図ってまいりましたが、感染力が非常に強い「オミクロン株」により、8 月に第 7 波、11 月に第 8 波の感染拡大期を迎え、当法人の職員や各施設の利用者にも多くの感染者が発生しました。とりわけ、9 月 6 日には特別養護老人ホーム白鳥ハイツが当法人初のクラスターに認定され、さらに同月 26 日には特別養護老人ホームエンルムハイツもクラスター認定に至りました。

デイサービス事業は、コロナ禍による利用控え傾向に加え、職員や利用者に感染が確認された場合は休業となるため苦しい経営となり、デイサービスセンター白鳥ハイツは定員 35 人を 5 月 1 日より 30 人に減員して稼働率の向上を図りました。

令和 4 年の室蘭市内出生数は 392 人と、初めて 400 人を割り込み、一段と少子化が進みました。また、入所児童数の減少傾向が続いているうえ、保育士確保が難しいため乳児の受け入れを増やすことができず、保育事業収益は大きく減少しました。

事業活動における費用は、国際情勢の悪化等に影響された光熱費や諸物価の高騰、人材不足対策に起因する人件費単価の増大等により、全体的にやや増加しました。

このように経営は苦しいものとなり、施設整備積立としては、老福施設ではエンルム・白鳥・あいらんで計 5,490 万円を積立て、エンルム・かがやきで 698 万円を取崩し、保育所では新たな積み立てはできず、1,380 万円を取崩しました。以上、差引合計 3,412 万円の積み立てとなりました。

第 3 次中期経営計画に基づく施設修繕や機器の更新に取り組み、安心安全な施設によるサービス向上にも取り組みました。旧知利別小学校グランド跡地への楽山保育園の移転改築については、令和 6 年 4 月オープンに向け、基本設計や埋蔵文化財関係の手続きを予定どおり進めることができました。

今後も、計画に沿ったソフト事業、ハード事業の両面にわたり職員一丸となって取り組んで参ります。

（1）特別養護老人ホーム（白鳥ハイツ、エンルムハイツ従来型・ユニット型）

前年度、前々年度と同様、今年度もまた、入所者や職員の新型コロナウイルス感染予防を第一に考え、その対応に多くの時間と労力を費やす一年となりました。

引き続き、規模や参加人数を縮小し工夫を凝らした形での行事の開催や、オンラインやガラス越しでの家族面会などを行い、また基本的な感染予防対策も実施して参りましたが、残念ながら白鳥ハイツにおいては８月に、エンルムハイツにおいては９月と１月にクラスターが発生し、ゾーニングを開放して通常運営に戻ることができたのはそれぞれ発生から約１ヶ月後のことでした。その間、関係者の皆様には多大なるご心配、ご迷惑をお掛けしましたこと、深くお詫び申し上げます。

職員の人材確保につきましては、同業者間での人材獲得競争が激しくなっており、また就労者もより良い待遇でより働きやすい環境を求める傾向が顕著になっていることもあり、10 月からの社会保険適用拡大の際には個々の職員の希望を尊重しながら話し合いを重ね、結果、社会保険加入職員が増加しております。

ベッド稼働率は前年度を上回っておりますが、人件費支出の増加や、光熱水費の上昇に伴う物価の上昇などもあり、経営的には厳しさを増しています。

エンルムハイツ・ユニット型は開設 10 周年を迎え、新型コロナ対策を施した上で記念行事を実施いたしました。

※令和４年度　１日平均入所者数・平均稼働率　（前年度）

白鳥ハイツ	【定員 100 人】	96.0 人 96.0%　（93.9 人 93.9%）
エンルムハイツ従来型	【定員 48 人】	46.8 人 97.4%　（45.7 人 95.2%）
〃　ユニット型	【定員 54 人】	52.0 人 96.3%　（52.3 人 96.9%）

（2）養護老人ホーム（あいらん）・特定施設入居者生活介護事業所

前年度に引き続き、新型コロナウイルスによって運営への制約を受けた１年で、ご利用者や職員の感染予防を第一に、日常においては密になる状態を避け、例年行われてきた各種行事などは中止となりましたが、少しでも変化のある生活の提供を目指しました。

また、面会制限等により、ご利用者及びご家族には、ご迷惑やご心配をおかけ致しましたが、次年度に向け職員全員で感染対策に取り組み、ご利用者や職員の安全確保を引き続き努めて参ります。

なお、緊急時を想定した訓練は行えず、また、地域貢献事業も行えなかったことから、今後において状況を見ながら計画を立て実施して参ります。

４年度の利用状況は、前年度より利用人数が多く、また、入院者数も少なかったことから、引き続き入院者ができるだけでないよう利用者援助に努めます。

なお、新規入所は 17 名で、そのうち６名が緊急入所で、虐待の対象者でした。

※令和４年度　１日平均入所者数・平均稼働率　（前年度）

養護老人ホーム【定員 80 人】	80.9 人　101.1%（79.6 人、99.5%）
うち特定施設【定員 30 人】	29.7 人　98.9%（30.0 人、99.9%）
あいさぽ事業	中　止　（　中　止　）

（３）デイサービスセンター（白鳥ハイツ、エンルムハイツ、かがやき）

コロナ禍において、地域で暮らす高齢者におかれましては、自宅に閉じこもりがちとなり、他者との交流機会の減少、フレイルの進行、認知症発症リスクの増大などを招いております。このような状況の中、地域としてデイサービスの役割が一段と求められました。しかし当法人におきましても、コロナ感染の影響により思うように運営が行えなかったのが現状であります。

具体的には、白鳥ハイツでは３週間、エンルムハイツでは１０日間、かがやきでは1日の運営休止に至りました。

またオレンジカフェにつきましても同様に、年間12回（月１回）開催予定のうち、5回のみの開催（7回中止）となりましたが、交流機会の提供等にも努め、認知症に関する啓発活動を推進しました。

このような状況にて、全国的にもデイサービスの利用者減少が起こり、その原因に外出を控える高齢者が増えたこと、同居家族が家庭内へウイルスの持ち込みを恐れ利用を控えるようになったことで、利用率の低下を招き経営状況の悪化に至りました。

また人材不足も深刻で、求人をかけても募集がなく、人材派遣会社を利用するという悪循環が生まれ、経費が掛かったことも原因であります。

物価の高騰や光熱水費の上昇で経営が圧迫されていますが、次年度におきましては、各事業所が新規利用者の獲得を目指し経営状況の改善を行ってまいります。

※令和４年度　一日平均利用者数　（前年度）

	通常型	認知症対応型
白鳥ハイツ 【通常定員35名、5月から30名】	23.0名（25.3名）	―
エンルムハイツ 【通常定員30名】	20.6名（21.9名）	―
かがやき 【通常定員25名 認知症対応型12名】	20.9名（23.0名）	4.3名（5.5名）

〇総合事業（介護予防・日常生活支援）―　基本チェックリスト該当者を含む。

※令和４年度　かがやきカフェ利用状況　（前年度）

実施回数	5回　（6回）
延利用者数	63人*　（18人）

*室蘭市要請9/20栗林アリーナ実施分含む

（４）居宅介護支援事業（エンルムハイツ）

在宅生活でも新型コロナウイルス感染の影響で、事業所が閉鎖することもありましたが利用者に不利益がないようにサービスの調整を行うことができました。

地域包括支援センターや医療機関からの支援困難ケースも積極的に受け入れることで、特定事業所としての役割を果たすことができたと同時に新規利用者も増え、目標のプラン作成件数を達成することができました。

また、利用者のニーズを尊重し自立支援に向けた居宅サービス計画書を作成し、各関係機関との連携をとりながら社会資源を活用することで利用者が住み慣れた地域での生活を継続できるように支援しました。

※令和４年度　プラン作成実績数/月　（前年度）

プラン作成件数　件/月	224.9 件/月　(219.8 件/月)
ケアマネ１人当たり平均件数(6 名)	37.4 件/月　(36.6 件/月)

（５）地域包括支援センター（白鳥ハイツ～室蘭市からの受託事業）

地域包括支援センターは、地域包括ケアを支える中核機関として市内に 4 箇所設置されており、白鳥ハイツは祝津・白鳥台・本輪西地区を担当し、65 歳以上の方の相談対応を行いました。

相談件数は昨年よりもわずかに減少しましたが､相談内容は複合的な課題を抱えているケースが多くなっていることから、虐待や権利擁護、施設の入所に関する相談の増加が目立っています。そのため、解決に多くの時間を要する事例が増加していると言えます。新型コロナによる影響が続く中、短時間の居宅訪問、ZOOM を利用した会議や研修への参加、密を避ける中での介護予防の講話や地域ケア会議を開催し、感染リスクを減らす活動は継続中です。担当圏域の高齢化率が高いため、要支援から要介護になる方が増えており、介護予防プランの作成件数は前年度より減少しております。

※令和４年度　予防プラン作成件数/月　相談件数/月　（前年度）

作成件数	404.4 件　(413.4 件)
相談件数	133.3 件　(137.3 件)

（６）短期入所生活介護事業（ショートステイ ～ 白鳥ハイツ、エンルムハイツ）

短期入所生活介護の利用目的としては、介護者のレスパイトが最も多く、短期入所生活介護の利用とご家族、各関係機関との連携により、ご利用者の自宅での生活を継続することができております。

稼働率につきましては、エンルムハイツ、白鳥ハイツともに新型コロナウイルス感染症のクラスターにより１カ月程度、受け入れを中止せざるを得ない状況となり、稼働率は前年度より低下しております。

※令和４年度　１日平均利用状況　（前年度）

白鳥ハイツ　【定員６人】	3.9 人　64.9%　(4.1 人　68.6%)
エンルムハイツ【定員８人】	4.3 人　54.3%　(5.4 人　66.9%)

（7）保育所（双葉・楽山・みどり・白鳥・東町・常盤の6保育所、らんらん）

歳児別保育を基本とした指導計画に基づき、子ども一人ひとりの成長に配慮し、健康で情緒の安定を図れる保育を実施しました。入所児童数は減少傾向となっており、稼働率は前年を下回り 88.1%になりました。出生数の減少やコロナ禍による利用控え傾向が主な原因と考えられますが、保育士の確保も課題となっております。

新型コロナウイルス感染症に対しては拡大防止に努めてきましたが、変異株の感染力は凄まじく、全園において多くの職員や入所児童に感染が広がりました。感染者が発生した場合も、その社会的重要性を踏まえ可能な限り開所を継続、もしくは休園期間の短縮に努めました。

特別保育は、全保育所において「延長保育」、「障害児保育」の実施、双葉保育所、東町保育所及び常盤保育所において「病児保育」、その他「一時預かり」、「年始保育」など多様な保育を実施するほか、全保育所での完全給食（全児童に主食を提供）を継続して実施し食育の推進に努めました。

保育所行事につきましては、市内の感染状況も改善傾向が見られないため、参加者を制限するなどの感染予防対策に努めながら、各施設とも工夫を凝らし可能な限り行事を実施しました。

常盤保育所内の子育て支援センター「らんらん」は、室蘭市からの受託事業として親子のふれあいの場の提供や様々な子育て相談を行っていますが、利用者は前年より更に減少となりました。このことは、地域の就学前児童が減少していることに加え、コロナ感染症の影響が大きいものと考えられます。

※令和4年度　保育所入所状況（6保育所合計）　（前年度）

利用定員 550人	484人　88.1%　（539人　96.3%）

※令和4年度　らんらん利用状況　（前年度）

ルーム参加者	2,176人　（2,307人）
サークル訪問支援	0件　（　0件）
相談件数	352件　（　489件）
親子講座	61人　（　77人）
ほかほかルーム	32人　（　14人）

２　評議員会開催状況

定　時

１）日　時　　令和４年６月２３日（木）
２）場　所　　室ガス文化センター会議室
３）案　件　　報告２件、認定１件
４）てん末　　報告第１号「令和３年度事業報告」を報告した。
認定第１号「令和３年度法人決算」を報告した。
報告第２号「令和３年度監査報告」を報告した。

３　理事会開催状況

第１回

１）日　時　　令和４年６月６日（月）　午後１時３０分
２）場　所　　室ガス文化センター会議室
３）案　件　　報告２件、認定１件、議案２件
４）てん末　　報告第１号「令和３年度事業報告」を報告した。
認定第１号「令和３年度法人決算」を審議し、認定された。また、報告第２号「令和３年度監査報告」を報告した。
議案第１号「令和４年度定時評議員会招集の件」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第２号「令和４年度白鳥保育所補正予算（第１号）」を審議し、原案のとおり可決された。

第２回

１）日　時　　令和４年７月２５日（月）　午後１時３０分
２）場　所　　本部会議室
３）案　件　　報告１件、議案６件
４）てん末　　報告第１号「理事長及び常務理事職務執行状況（４月～７月）」を報告した。
議案第１号「令和４年度双葉保育所補正予算」から議案第６号「令和４年度常盤保育所補正予算」までを一括審議し、原案のとおり可決された。

第３回

１）日　時　　令和４年８月３０日（火）　午後１時３０分
２）場　所　　室ガス文化センター会議室
３）案　件　　報告１件、議案９件
４）てん末　　報告第１号「業務監査結果報告（第１四半期）」を報告した。
議案第１号「楽山保育園改築基本計画の件」を審議し、原案のとおり可決された。

議案第２号「楽山保育園改築工事基本設計業務委託の件」及び議案第３号「令和４年度楽山保育園補正予算（第２号）」を一括審議し、原案のとおり可決された。
議案第４号「令和４年度常盤保育所補正予算（第２号）」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第５号「令和４年度双葉保育所補正予算（第２号）」から議案第８号「令和４年度東町保育所補正予算（第２号）」までを一括審議し、原案のとおり可決された。
議案第９号「経理規則一部改正の件」を審議し、原案のとおり可決された

第４回

１）日　時　　令和４年９月２９日（木）　午後１時３０分
２）場　所　　室ガス文化センター会議室
３）案　件　　報告１件、議案２件
４）てん末　　報告第１号「楽山保育園改築工事基本設計業務委託入札結果の件」を報告した。
議案第１号「臨時的任用職員就業規則一部改正の件」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第２号「令和４年度常盤保育所補正予算（第３号）」を審議し、原案のとおり可決された。

第５回

１）日　時　　令和４年１１月１６日（水）　午後１時３０分
２）場　所　　本部会議室
３）案　件　　報告３件、議案７件
４）てん末　　報告第１号「理事長及び常務理事職務執行状況（８月～１１月）」を報告した。
報告第２号「業務監査結果報告（第２四半期）」を報告した。
議案第１号「令和４年度エンルムハイツ補正予算（第１号）」から議案第３号「令和４年度かがやき補正予算（第１号）」までを一括審議し、原案のとおり可決された。
議案第４号「令和４年度東町保育所補正予算（第３号）」及び議案第５号「令和４年度常盤保育所補正予算（第４号）」を一括審議し、原案のとおり可決された。
議案第６号「令和４年度法人本部補正予算（第１号）」を審議し、原案のとおり可決された。
議案第７号「臨時的任用職員就業規則一部改正の件」を審議し、原案のとおり可決された。
報告第３号「令和４年度法人会計決算見込みの件」を報告した。

第６回

１）日　時　　令和５年２月２４日（金）　午後１時３０分

２）場　所　　本部会議室

３）案　件　　報告３件、議案８件

４）てん末　　報告第１号「業務監査結果報告（第３四半期）」を報告した

報告第２号「楽山保育園改築工事基本設計納入の件」を報告した。

議案第１号「令和４年度エンルムハイツ補正予算(第２号)」及び議案第２号「令和４年度あいらん補正予算（第２号)」を一括審議し、原案のとおり可決された。

議案第３号「令和４年度双葉保育所補正予算(第３号)」から議案第６号「令和４年度常盤保育所補正予算（第５号)」までを一括審議し、原案のとおり可決された。

議案第７号「令和４年度法人本部補正予算(第２号)」を審議し、原案のとおり可決された。

報告第３号「令和４年度法人会計決算見込みの件」を報告した。

議案第８号「施設長等任命の件」を審議し、原案のとおり可決された。

第７回

１）日　時　　令和５年３月２４日（金）　午後１時３０分

２）場　所　　本部会議室

３）案　件　　報告１件、議案２５件

４）てん末　　報告第１号「理事長及び常務理事職務執行状況（１２月～３月)」を報告した。

議案第１号「令和４年度白鳥ハイツ補正予算（第１号)」から議案第４号「令和４年かがやき補正予算（第２号)」までを一括審議し、原案のとおり可決された。

議案第５号「令和４年度双葉保育所補正予算（第４号)」から議案第９号「令和４年度常盤保育所補正予算（第６号)」までを一括審議し、原案のとおり可決された。

議案第１０号「令和５年度事業計画」を審議し、原案のとおり可決された。

議案第１１号「令和５年度白鳥ハイツ予算」から議案第２１号「令和５年度法人本部予算」までを日程ごとに一括審議し、原案のとおり可決された。

議案第２２号「楽山保育園改築工事実施設計業務委託の件」及び議案第２３号「楽山保育園改築工事入札の件」を一括審議し、原案のとおり可決された。

議案第２４号「職員の管理職員の範囲を定める規則等一部改正の件」及び議案第２５号「本部事務局規則等一部改正の件」を一

括審議し、原案のとおり可決された。

≪　参　考　≫

評議員連絡会開催状況

１）日　時　　令和４年１１月２５日（金）　午後１時３０分
２）場　所　　室ガス文化センター　会議室
３）連絡事項　　３件
４）てん末　　・新型コロナウイルス感染症の発生等について報告した。
　　・楽山保育園の移転基本計画について報告した。
　　・令和４年度法人会計９月末決算見込みについて報告した。